

小牧市民病院 放射線科 放射線診断部門 放射線科は、

画像診断、核医学、IVR(interventional radiology)、 放射線治療の各領域で構成されています。

このうち放射線診断部門では、画像診断、核医学、IVRを担当しています。

画像診断はデジタル化やインターネット環境の拡充 などにより、ライフステージの変化や、個人の事情 や能力に応じて、病院勤務から在宅勤務まで多様な 働き方を選択することが可能となりうる領域です。

臨床現場では診断や治療方針を決定するために、画像診断の必要性が高く、一方で最新の画像装置による膨大なデータを有する画像検査の評価、診断結果の取り扱いがしばしば問題となっています。

カテーテルを用いた癌や外傷、血管疾患に対するIVR は、低侵襲治療として超高齢化社会を目前に重要性 が高まることが予想されます。 放射線科 放射線診断部門はこれらの 広い分野を包括的にカバーする唯一の 診療科です。

放射線医学を志す若いみなさん、一緒 に学び、働きましょう!

専門医を目指して

卒後臨床研修 修了

3年

学会認定研修施設での総合研修・放射線治療・画像診断・ IVR・核医学の研修

卒後6年目 に受験可能 放射線科専門医認定試験

2年

放射線科専門医

画像診断の各検査法と診断ならびにIVRおよび放射線治療に携わり安全で質の 高い医療を提供できる専門技能を有する

卒後8年目 に受験可能

学会認定研修施設での専門研修

放射線治療専門研修

放射線治療専門医認定試験

画像診断、IVR、核医学の専門 研修

放射線診断専門医認定試験

放射線治療専門医

放射線腫瘍学に関する深い 専門知識と 高い水準の 放射線治療技術を有する

放射線診断専門医

画像診断部門に関する深い専門的知識と 放射線診断を研修中の放射線科医および 他診療科医師を指導できる臨床能力を有 する

小牧市民病院放射線科放射線診断部門の現状

2021年4月より名古屋市立大学 放射線医学教室から 常勤医2名が開始され、現在、名古屋市立大学と名古 屋大学の二重派遣となっています。

小牧市民病院は日本医学放射線学会認定施設であり、 卒後専門医取得のための研修が可能です。

(研修基幹施設である名古屋市立大学での一定期間 の研修は必須です。)

常勤医数が増えたことで、IVR件数の増加を目指し、 日本IVR学会のIVR専門医修練施設認定の取得も目指 しています。

スタッフ

西川浩子 平成13年卒

- 日本医学放射線学会放射線診断専門医、研修指導者
- 日本IVR学会IVR専門医
- 日本核医学会核医学専門医、PET核医学認定医

石口裕章 平成22年卒

- 日本医学放射線学会放射線診断専門医、研修指導者
- 日本IVR学会IVR専門医
- 日本核医学会PET核医学認定医

加藤真司 平成27年卒

- 日本医学放射線学会放射線専門医
- 日本核医学会PET核医学認定医

画像診断やIVRに興味のある学生の皆さん ぜひ一度見学にいらしてください